

スタッフ情報局

そうだ、湯治に行こう!

寒い冬を乗り越え、少し疲れがたまってきた森の庵リーダー嶋本岳史はふと思いました。「そうだ、湯治に行こう!」リーダーがすすたと歩いていってしまったので私も後ろからついて行くことにしました。

足利銀行の少し先を右に曲がり、さらに行くことたくさん。民宿旅館が建ち並んでいます。そして風情のある石畳を抜けると、リーダーの目的地である鹿の湯に到着しました。



鹿の湯

山の澄んだ空気に、硫黄の強いにおいが混じっています。ご主人が優しい笑顔でお出迎え。建物の中は、親戚のおばあちゃんちに来たときのような、懐かしくて暖かい空気で包まれていました。

那須七湯のひとつである鹿の湯はとても強い酸性湯です。

女湯に5つ、男湯に6つの浴槽があり、41度～48度まであるので、入り方にも少々コツがいるようです。

常連のリーダーは、「僕の適温は43度。でも今日は48度まで入ってきたよ。」となかなかの男気を見せてくれました。リーダー素敵!

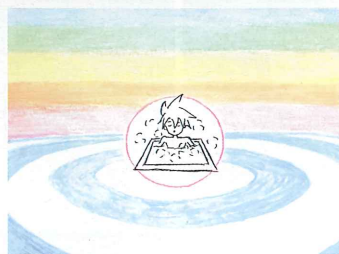


支配人の室井さん

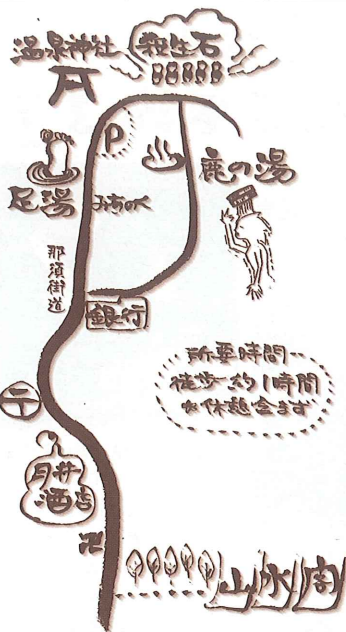


◆鹿の湯

入湯料：400円
年中無休：8:00～19:00
イベント情報：5月から10月の第2・第4金曜日に限り、午前11時から10分間の『湯のみ』を行います。



本人によるイメージイラスト (気分は虹色?)



続いて殺生石を見上げながら歩くこと約5分。「温泉神社」に到着しました。なにやら神妙な面持ちでお参りしています。「世界が平和でありますように」さすが。ちなみに私は「……」内緒です。



世界が平和でありますように

月井商店

清々しい気分になったリーダーは、街道沿いにある月井商店に立ち寄りしました。ずらりとお酒の並ぶ店内の所々には、小物を使ったとてもおしゃれなディスプレイがあり、目を楽ませてくれます。

「ご主人、今夜は天然の鮎でいっぱいやりたいのだけど、おすすめは?」とリーダーが尋ねると「旭興」というお酒を出してくれました。旭興は、黒羽にある渡辺酒造のお酒です。黒羽といえば鮎の名産地。鮎とこのお酒が合わないわけがありません。楽しみです。



ご主人の月井さん



◆月井商店

水曜日定休 9:00～22:00
(お酒をお買い上げの方には何かサービスがあるかも…)

大満足のリーダーは、山水閣へと戻っていきました。のんびりと歩きながら景色を楽しみ、日頃の疲れを温泉ですっきり取る、こんなリーダー嶋本風の旅もいいのでは?

文：人見 由加里



ほんと「自然はすばらしい!」 と息を吐く。フットコート

この写真は昨年12月27日、りんどう大橋で撮影したものです。那須ではきれいな虹を見ることが出来ます。ハ

旅館の朝は早く、正直つらい日もありますが、みんなこの大自然に励まされてがんばっています。那須の自然とすべての方々に、心より、ありがとう!

菊池 悟

